

お知らせ

令和 3年10月29日

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ・広島県政記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

広島湾さとうみフェスタ2021を開催します

— 広島湾で始めよう、SDGs —

「広島湾さとうみネットワーク」は、市民、教育機関、企業、行政など様々な関係者が、広島湾において、貴重な自然、景観の保全を図り、にぎわいを創出し、恵み豊かな美しい広島湾を次世代に継承することを目指しています。

今回は「広島湾で始めよう、SDGs」をテーマとして、広島湾において貴重な生物の保存、海ごみ問題、カーボンニュートラル等について話し合い、広島湾における貴重な資源を次世代に受け継ぐため、SDGsに関する情報を発信し、多くの関係者とともにSDGsの実現を目指します。

■開催日時：令和3年11月13日（土） 13:00～16:00

■開催場所：CLiP HIROSHIMA（広島市中区東千田町 1-1-18）
会場での観覧とオンライン（※Zoomで配信）での参加が可能です。
※チラシのQRコードからお申し込みください

■内 容：詳細はチラシをご覧ください

基調講演 宮島水族館 赤木 太さん

瀬戸内海の豊かさを伝える宮島水族館のSDGsの取り組み

リレートーク&ディスカッション STU48が進行

リレートークではSTU48が進行役となり、会場やオンライン参加者と双方向で、広島湾でSDGsを推進していくためのアイデア、広島湾さとうみネットワークでやりたいことを話し合います。

■主 催：広島湾再生推進会議・広島湾さとうみネットワーク

■取材申込：当日、取材に来られる方は、下記の問い合わせ先へ連絡して下さい。

※さとうみ…人手が加わるにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域のことを言います。

※SDGs…「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で17の世界的目標があります。

※カーボンニュートラル…温室効果ガスについて、「排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする」ことを意味します。ニュートラルは中立という意味です。

〇問い合わせ先 <広島湾再生推進会議・広島湾さとうみネットワーク事務局>

国土交通省中国地方整備局 TEL(082)221-9231(代表)(平日昼間)

(担当) 企画部 広域計画課長 高口 敏 弘 (内線 3211)

課長補佐 今 田 修 (内線 3212)



広島湾 さとうみ フェスタ 2021

広島湾で始めよう、SDGs



オン&オフ 同時開催!

オンライン参加 (Zoomウェビナー)
 限定 **500名** ※申込先着順

会場参加
 限定 **50名** ※申込先着順

令和3年11月13日(土) 13:00~16:00

無料

場所: CLiP HIROSHIMA (広島市中区東千田町1-1-18)

※当日、駐車場はございません。お車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関でお越しください。

オンライン参加・会場参加につきまして、どちらも**事前申込が必要**となります。
 右のQRコードからお申込ページへ進み、ご希望の参加方法にお申し込みください!

広島湾さとうみネットワーク

検索



新型コロナウイルス
 感染拡大防止対策について

※各自治体のガイドラインをご確認いただき、ご来館をお願い致します。 ※イベントは状況により中止または延期になる場合がございます。
 ※入館時には、検温・消毒、体調管理に関する名簿のご記入をお願い致します。記入して頂いた個人情報、目的以外には使用いたしません。

プログラム

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合がございます。

13:00 開会挨拶

13:05~ 基調講演

『瀬戸内海の豊かさを伝える
 宮島水族館におけるSDGsの取り組み』

みやじまリン
 宮島水族館 赤木 太氏 (宮島水族館)
 Miyajima Public Aquarium

宮島水族館は「瀬戸内海まるごと水族館」をテーマに、地域に根ざした特色ある展示や生物の保護活動、環境教育に取り組んでいます。

今回のイベントでは、スナメリと人との関わりや山と海の繋がりの大切さについてわかりやすくご紹介いただくとともに、豊かな広島湾を守っていくSDGsの取り組みのためのヒントをいただきます。



スナメリ

14:00 休憩

14:10~ ①リレートーク

広島湾をフィールドに活躍されている方々の活動報告をお聞きし、会場・オンライン参加者双方からのコメントや質問を受け付け、トークを行います。

②ディスカッション

会場とオンライン参加者をつなぎ広島湾でSDGsを推進していくためのアイデアや、広島湾さとうみネットワークでやりたいことを話し合います。

- コーディネーター 山本 民次氏 流域圏環境再生センター長 (広島大学名誉教授)
- スピーカー 山陽女学園高等部 山陽女学園高等部 サイエンス同好会メンバー
- 福岡 浩一氏 トリゼンオーシャンズ株式会社 製造・開発部長
- 波田 輝明氏 井口漁業協同組合 組合長
- 谷川 裕之氏 竹の駅あきたかた 事務局長
- 馬場田真一氏 みやじま未来ミーティング/(一社)ふるさと楽舎
- 田中 貞徳氏 屋代島さとうみネットワーク 代表
- 胡子 雅信氏 (一社)広島湾地域資源ネットワーク 事務局長

16:00 閉会挨拶



フェスタの前も、後も! 楽しいイベント盛りだくさん!!

さとうみフェスタ関連イベント

パネル展開催!!



※写真は前回イベントの様子です。

CLiP HIROSHIMA (会場) 内にて「広島湾におけるSDGsの推進」をテーマにしたパネルを展示!

展示期間:
 11月13日(土)~11月19日(金)

関連イベント開催!!



※写真は前回イベントの様子です。

「海岸ごみ清掃」「広島湾の魅力マップづくりイベント」など、様々な体験イベント開催を予定!

詳細については広島湾さとうみネットワークHPやfacebook内にて随時発信!

オンライン配信!!



特設ホームページ内にて、さとうみにまつわる動画配信やオンラインマルシェを開催!

詳細については広島湾さとうみネットワークHPやfacebook内にて随時発信!

ラジオ放送!!



さとうみフェスタ当日に行われるリレートークの様子は、後日ラジオ番組で放送されます!

番組、放送時間は後日ホームページやFacebookでお知らせします!!

詳しくは「広島湾再生プロジェクト」ホームページをご覧ください!

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/>

主催: 広島湾再生推進会議・広島湾さとうみネットワーク

お問い合わせ: (イベント全般)国土交通省中国地方整備局企画部広域計画課内 TEL 082-221-9231 (オンラインイベント)瀬戸内さとうみ楽会 E-mail: hwancommunity@gmail.com



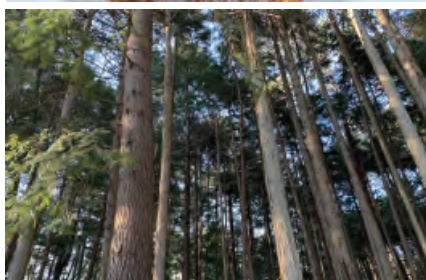
金櫃火山・松山より広島湾・周防大島方面を望む
撮影：写真家 藤山 功



©広島市経済観光局農林水産部水産課



©広島市経済観光局農林水産部水産課



恵み豊かな 美しい広島湾を 次世代へ。



HIROSHIMA-BAY
SATOUMI
NETWORK

広島湾さとうみネットワーク
hbsatoumi.net

事務局：
特定非営利活動法人 瀬戸内さとうみ楽会・
国土交通省中国地方整備局企画部 広域計画課
TEL：082-511-6120 FAX：082-511-6359



広島湾さとうみネットワークについて

これまで広島湾の保全・再生に向け、行政、民間、NPOなどが取り組んできましたが、海岸に漂着するごみをはじめ豊かな環境や美しい景観の保全など広島湾を取り巻く様々な課題に十分対応できていない状況です。

このため、2020年3月に、官民が連携しながら広島湾における課題に対応し、次世代に恵み豊かな美しい広島湾を継承することを目指して、「広島湾さとうみネットワーク」を設立しました。

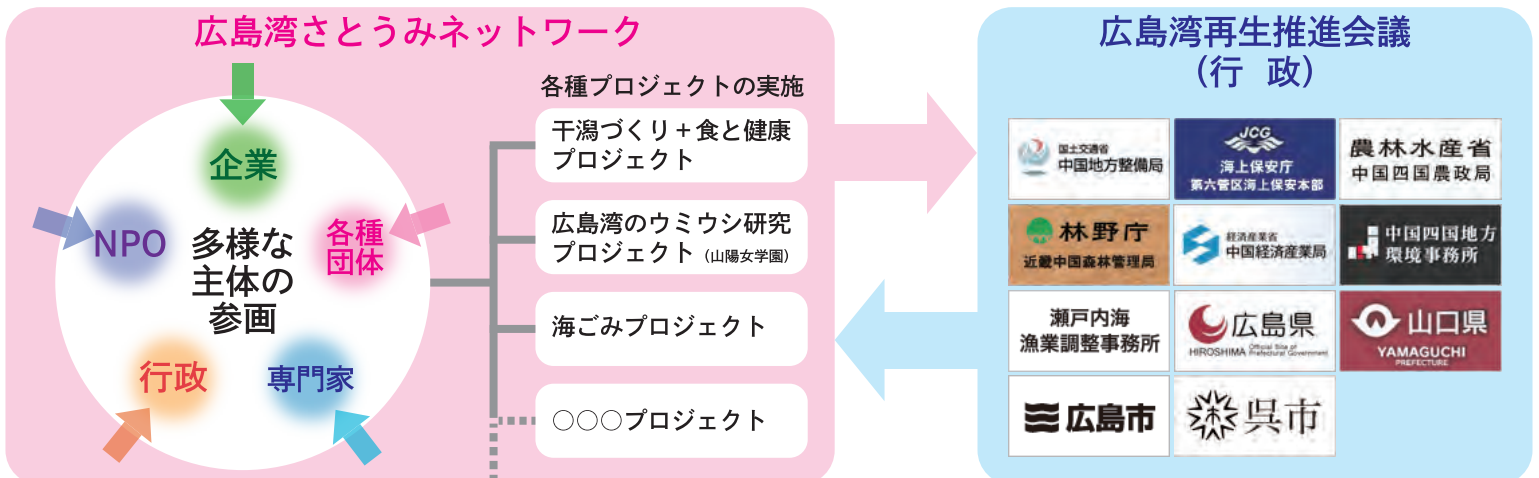
目的

私たちは、広島湾を森・里・川・海を一体としてとらえ、多様な生物を育む豊かで美しい海を再生し人々が将来にわたり誇りを持てる広島湾を目指します。また、人と人との交流を通じて、広島湾の保全・再生に人々が関心を持ち、活動へ積極的に参加できるような環境をつくりまします。



体制

行政だけ、民間だけでは実現が困難な取り組みも、お互いが連携することで実現可能にしてきます。



次世代に残したい広島湾の魅力

命を育む、広島湾。

広島湾には、他ではなかなか見ることができない貴重な生き物がたくさん生息しています。また、森・川・海の距離が近く、それぞれが密接につながる豊かな自然環境は、多くの生き物を育む命のゆりかごとなっています。



ニホンアワサンゴの群生
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会提供



海藻（アマモ）にひそむメバル



ハクセシオマネキ
中国新聞社提供



海藻（ガラモ）に集まるメバルの稚魚
中国新聞社提供



スナメリの親子
中国新聞社提供

美しい多島美や歴史と触れ合う。

広島湾は、島々が美しい多島美を形成しているほか、平清盛の時代から伝わる厳島神社の管絃祭に代表されるように、歴史的資源も豊富に存在しています。

また、穏やかな海では、カヤックやSUP、クルーズなどのマリンスポーツが気軽に楽しめます。



江田島湾
撮影：写真家 脇山 功



SUP体験



管絃祭

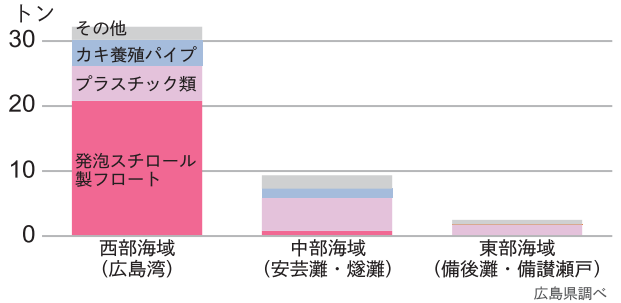


音戸大橋
呉市観光振興課提供

広島湾は今、様々な問題を抱えています。

海ごみ

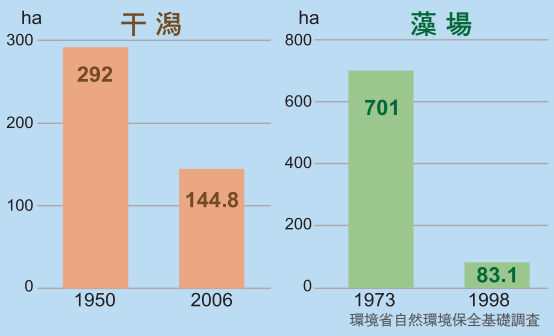
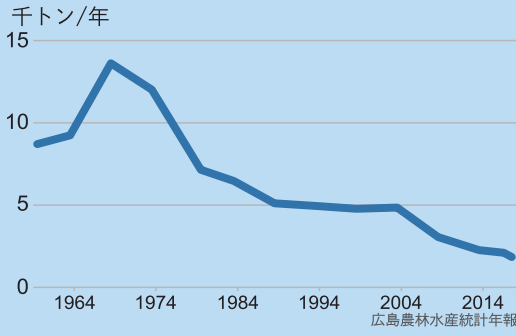
広島湾では、発泡スチロール製フロートや陸域から河川を通じて海へ流れ出たプラスチック類（ペットボトル、ポリ袋など）が漂流して海岸に打ち上げられています。海洋に流出したこれらのごみは分解せず、マイクロ化することで生態系への影響が懸念されています。



広島県内海岸の漂着ごみ量 (R2年度：年間平均)

魚介類

広島湾では海面漁業の漁獲量が減少しています。また、これらの水産資源を育む干潟や藻場も減少しています。魚介類が減少する要因は様々ですが、海底付近で夏場の溶存酸素が少なく、海水中の栄養分が不足していること、アサリを食害する生物が増加していることなどが考えられます。

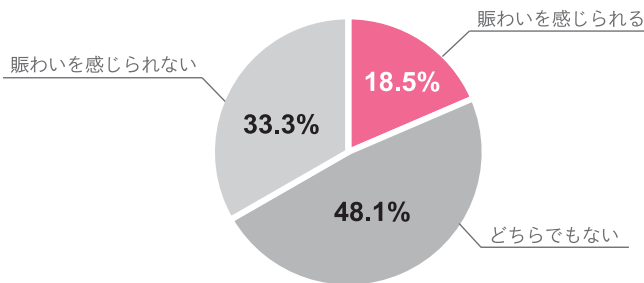


広島湾の海面漁業漁獲量の推移

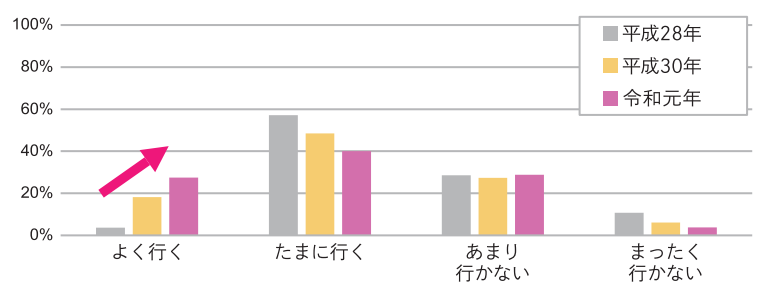
広島湾北部海域の干潟・藻場面積の推移

賑わい

市民アンケートの結果によると、広島湾が身近で賑わいのある海になっていると感じている人は多くありませんが、海や川など水辺を感じるところによく行く人は増加傾向にあります。親水空間や賑わい施設においてイベントを開催するなど、きっかけがあれば水辺を訪れる人が増えていくものと考えられます。



広島湾に身近で賑わいを感じられますか？ (令和元年)



広島湾周辺で海や川など水辺を感じるところによく行きますか？

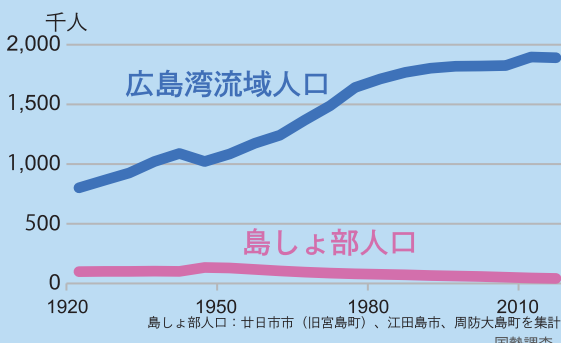
広島湾に対する市民アンケート (中国地方整備局調べ)

担い手

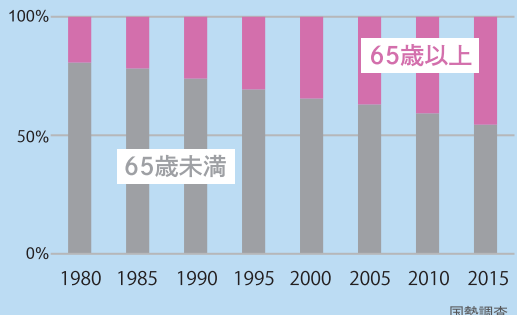
島しょ部や中山間地域では、人口減少・高齢化により広島湾の自然や歴史・文化的資源を保全・継承する担い手が減少しています。担い手が減少すると、里山・里海が荒廃したり、貴重な歴史・文化的資源が失われていくものと考えられます。



森林の荒廃



人口の推移



年齢別人口割合 (島しょ部)

広島湾さとうみネットワークの活動

美しい自然や歴史・文化的資源の保全

- 市民、漁業者、企業、行政と連携して広島湾の海岸ごみの回収を進めます。
- 教育機関（大学、高校等）や企業と連携してマイクロプラスチックに関する調査研究を進めます。
- 海ごみの現状を知ってもらうためのエコツアーや環境学習イベントなどを開催していきます。



海岸ごみの清掃活動（海ごみプロジェクト）



海底ごみの清掃活動（海ごみプロジェクト）



エコツアーの開催（周防大島町）

地域の魅力を活かした賑わいや関係人口づくり

関係人口

地域のファン・サポーターとして積極的に関わる人

ボランティア

PR活動

地域づくりに参画



イベントの開催（さとうみフェスタ）



農業ボランティア活動

- 市民、企業、行政等がコラボした地域活性化のためのプロジェクトやビジネス、イベントを実施します。
- 担い手不足の地域との交流会やボランティア体験などを通じて、関係人口づくりを進めます。
- 広島湾さとうみネットワークホームページなどを活用することにより、人と地域のマッチングを進めます。

交流会やボランティア体験などを通じて、人と地域をマッチング

交流人口

観光などで訪れたことがあってもほとんど関わりがない人

関係人口づくりのイメージ

豊かな海の実現

- 市民、漁業者、行政等と連携してアサリ養殖場の整備など干潟再生を進めます。
- 広島湾の海の幸のブランド化や、海の幸を使ったお弁当などの商品化の検討を進めます。



漁業者との協働による干潟整備（干潟再生プロジェクト）

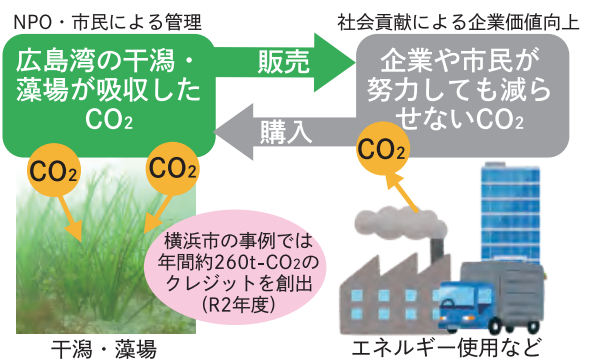


さとうみ弁当の商品化（食と健康プロジェクト）

トピックス

～カーボンニュートラルの実現に向けて～

藻場等の保全活動実施者により創出されたCO₂吸収量をクレジットとして認証し、CO₂削減を図る企業・団体等がクレジットを取引する「ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度」が近年導入されるようになってきています。



広島湾さとうみネットワークの 取り組みへの参加

企業による参加(他地域の事例紹介)

恵み豊かな美しい広島湾を次世代に継承することはSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みにもつながります。参加しやすい形で、一緒に広島湾さとうみネットワークの活動に取り組みませんか。

広報イベントや環境学習などの先進事例

市民、漁業者、行政と企業が連携して、広島湾の環境問題や魅力を知ってもらうための環境学習を開催します。

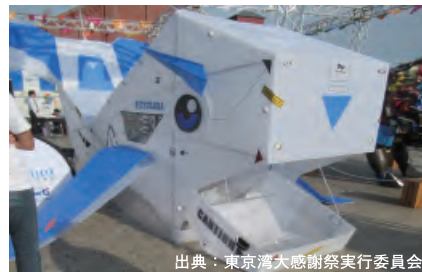
また、広島湾さとうみネットワークの取り組みに関心を持ち参加してもらえるように、市民に対する広報イベントを開催します。

(企業の協賛、企業によるブースの出展など)



出典：CIFER・コア

NPO法人と企業の連携により開催された、「大阪湾 海辺の教室」の様子です。

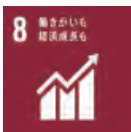


出典：東京湾大感謝祭実行委員会

「東京湾大感謝祭」では、企業による個性あふれる展示も多く行われています。(ペットボトルを回収するリサイクジラ)

CSR活動・福利厚生

企業CSR活動の一環として、森林整備・海岸清掃などのボランティア活動を行ったり、社員のリフレッシュやモチベーション向上につながるよう広島湾をフィールドとしたレクリエーションを行います。



出典：山口県提供資料

山口県では、CSR活動の一環として、森林づくりに取り組む企業が増えています。



企業の福利厚生の一環として、広島湾を楽しめるシーカヤック・SUP体験などを企画・実施していきます。

新たなビジネスの創出・地域活性化

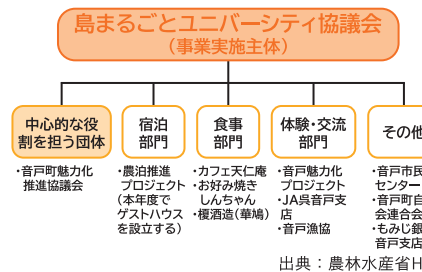
広島湾さとうみネットワークに参加している多様な主体と連携することで、環境再生のためのビジネスの創出や技術開発を行います。

また、地域活性化のための取り組みも行います。



出典：ひろしまサンドボックスHP（広島県）

江田島湾では産官学が連携して、IoT・ICT技術によるかき養殖の生産効率化のための実証実験が進められています。



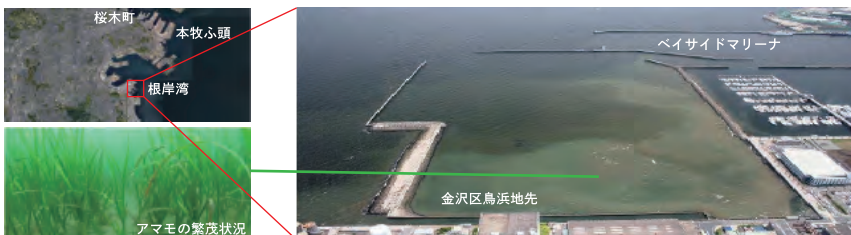
出典：農林水産省HP

呉市音戸町の地域住民・企業等が町全体を学びの場とする「島まるごとユニバーシティ」を設立し、地域課題を解決するための体験プログラムづくり等を行っています。

CO₂の削減と豊かな海づくり

市民団体、NPO法人、漁業者が連携して干潟・藻場の再生や保全活動を行うことで、豊かな海づくりやブルーカーボン[※]生態系によるCO₂削減に貢献します。

※) ブルーカーボン：沿岸域の藻場等で取り込まれた炭素。CO₂の吸収源の新たな選択肢として注目されています。



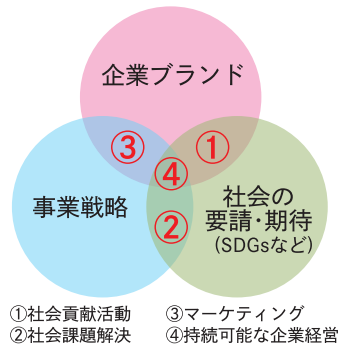
出典：関東地方整備局港湾空港部

横浜港 金沢区鳥浜地先では、藻場の保全活動の実施者（NPO法人、漁業者等）により創出されたCO₂吸収量をクレジットとして認証し、CO₂削減を図る企業等とクレジット取引を行うブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の試行が進められています。（ジャパンブルーエコノミー技術研究組合による「Jブルークレジット」の試行実施）

参加によるメリット

企業ブランディング

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、地域とのつながりを大切にして環境問題にも積極的に貢献しているなど、社会の要請・課題に対して貢献している企業ブランドのイメージアップや新規事業の拡大につながる事が期待されます。



SDGsへの貢献

各国、地域だけではなく、企業にもSDGs（持続可能な開発目標）への積極的な関与が求められています。

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、SDGsに積極的に取り組む企業であることをアピールできます。



新たな交流／社員モチベーション向上

広島湾さとうみネットワークの取り組みに参加することで、様々な人や団体との交流が生まれ、企業のPRになるだけではなく、新たなビジネスにつながる事が期待されます。

また、社会貢献活動やレクリエーションなどに参加することで、社員のモチベーション向上にもつながります。



具体的な取り組み事例

～豊かな海づくりとCO2削減への貢献～

企業が広島湾の干潟・藻場の保全活動に参加することで、豊かな海づくりやCO2削減に貢献するのみならず、社会貢献による企業価値の向上につながる事が期待されます。



一緒に活動していただける企業様を募集しています。

広島湾さとうみネットワークの事務局にNPO法人が加わり、令和3年4月より、実質的な官民連携組織として活動を始めました。広島湾の保全・再生に向けた取り組みへの応援をよろしくお願いいたします。

特典例：ホームページへの企業バナー掲載

広島湾さとうみネットワークのホームページは、地域の皆様をはじめNPO法人、行政機関、学校関係者、漁業関係者、研究者など様々な方にご覧いただいています。企業バナーの掲載により、広く一般の方々にPRすることができます。

特典例：SDGs、社会貢献企業として登録

取り組みに積極的にご参加いただいている企業に対して、広島湾さとうみネットワークがSDGs、社会貢献企業として登録し、ホームページやイベント等を通して広くPRさせていただきます。

特典例：マッチング・活動フィールドの提供など

広島湾の保全・再生に関する取り組みを実施する際に、必要に応じ専門家や地域の活動家、行政機関とのマッチング、活動フィールドの提供などを実施させていただきます。

特典例：学識者による技術サポート

カーボンニュートラルの実現に向けた藻場の創出やCO2吸収量の算定などの専門的事項については、学識者によるサポートをさせていただきます。

特典例：協賛イベントの開催

イベント等に協賛いただける場合は、広報チラシやイベント看板などに企業名を掲載し、PRさせていただきます。



広島湾さとうみネットワーク ホームページ
(企業広告バナー掲載可)